

# 野跡小学校6年生による施設見学

～お陰様で30周年 感謝を込めて地域貢献～

令和6年11月5日  
名古屋港海上交通センター

灘波陽子所長挨拶



管制官疑似体験

施設見学



海図体験



記念撮影



11月1日、地元の名古屋市立野跡小学校6年生32名と教諭5名を対象とした運用開始30周年記念及び156周年灯台記念日関連の施設見学を開催しました。

午前と午後の2班に別れて、センター業務概要説明、管制室見学・管制官疑似体験学習及び海図体験学習を実施しました。同校からの希望によりキャリア教育の一環として、仕事内容ややりがいを含めて説明を行った結果、アンケートでは引率の教諭含め高評価を頂き、参加者全員の貴重な学習の場となりました。

同校の鈴木校長先生は、8月の個別説明会にご家族で参加されており、当庁業務にも大変ご理解のある方で、今回の施設見学は年度当初から打合せを重ね、授業として貴重な時間を頂いたものです。同校は5年生のときに地元名古屋港の授業を行ったとのことで、普段見ることができない「海の管制官」が働く当センターの見学はとても楽しみにされていたようでした。

参加した子供達から「海上保安官は自分が感じていた想像のはるか上をいくぐらい大変な仕事だと思った。」、「立派な仕事で少し興味がでた。いつかやってみたいと思いました。」、「(海上保安官を)未来の選択肢に入れる!」とのコメントを頂き、キャリア教育の一助となりました。また、鈴木校長先生から「本日は野跡小の子供達の為に、丁寧に暖かく接してくださりありがとうございました。」とお礼のお言葉を頂戴しました。

当センターは、今年運用開始30周年を迎え、このような貴重な経験ができる場を設けて、関係機関との連携・地域貢献や人材確保・人材育成にも引き続き取り組んで参ります。